



# 人がほほえみ、地域が輝く 「ほっとする、ふくしま」の実現に向けて

福島県知事 佐藤 雄平

福島県では、昨年十二月、子どもたちが親の世代となる三十年後を展望しながら、今後五年間の県づくりの指針となる新しい総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」を策定しました。

雇用不安や所得格差の拡大、さらには人間関係の希薄化が問題となる中、幸いにも本県には思いやりの心や地域社会のきずながしっかりと残っており、これに磨きをかけ、夢と希望に満ちた、豊かな福島県を実現していきたいと考えています。

今年度は総合計画の初年度であり、本県の魅力でもあり宝でもある「人と地域」を礎としながら、「活力」「安全と安心」「思いやり」を柱とした県づくりを進めてまいります。

## 人と地域が輝くふくしま

人々がはつらつと活躍する社会を目指し、子育てしやすい環境づくり、文化・スポーツの振興、過疎・中山間地域の振興や市町村の広域連携の支援を実施してまいります。

特に、文化・スポーツの振興については、地域活力の創出を目指し、県内の文化施設が連携し、「漆」や「森林文化」をテーマにした事業を展開するほか、ふくしま文化少年倶楽部を創設し、子どもたちを地域文化の担い手として育成するための取組みを推進するとともに、「陸上王国福島」の実現に向けて、指導者の養成や選手育成に努めてまいります。過疎・中山間地域の振興に資する定住・二地域居住については、「空き家・古民家相談センター」を開設し、改築等の相談や情報提供を行い、「福島暮らし」をサポートしてまいります。

## いきいきとして活力に満ちたふくしま

人、モノ、情報の交流を活発にし、県民の生活を豊かに支える経済的な基盤を確かなものとするため、雇用対策はもとより、地域産業の六次化の推進、広域交流・観光の推進に取り組んでまいります。

特に、地域産業の六次化の推進については、県域及び地方のネットワークを構築するほか、担い手の育成、技術支援、成長産業育成資金の創設など総合的な支援を実施します。また、六次化商品や本県の顔となる十一品目「ふくしまの恵みイレブン」等の県産品について、ブランド力の強化を図るなど、新たな「食」に関する産業の創造を目指すとともに、「ごちそうふくしま満喫フェア」を開催し、本県の食文化や新たな商品を県内外へ積極的に発信してまいります。また、「福島モデル」として注目を集めている医療機器産業については、連携強化のための窓口を県立医科大学に設置し、世界に誇れるハブ拠点の形成に取り組めます。

このほか、福島空港については、アクセスの一層の改善に努めながら、国際教育旅行やJヴィレッジを活用した青少年のサッカー交流の拡大を図ってまいります。

## 安全と安心に支えられたふくしま

あらゆる場面で安全と安心に支えられた快適な暮らしができるよう、地域医療の確保や福祉サービスの充実、社会基盤の整備に取り組めます。

特に、地域医療の確保については、県立医科大学の定員を五名増やし百五名とするほか、医学部の学生を対象とした修学資金や県外から県内へ転任した小児科医等への研究資金貸与など、医師の養成・確保と県

内定着に努めます。あわせて医師の処遇改善を図り、特に産婦人科医の負担軽減のため、助産師の技術力の向上や院内助産所・助産師外来の開設を支援します。また、高齢者や障がい者への福祉サービスの充実を図るため、職員の賃金等の改善に取り組み事業者への助成、専門員配置による就労支援などを通して、新たな人材の確保と定着の促進を図ります。さらに、社会基盤の整備については、学校や災害拠点病院の耐震化、生活に密着した道路や橋梁等の長寿命化を進めてまいります。

## 人にも自然にも思いやりにあふれたふくしま

「思いやり」を大切にし、一人ひとりが大切にされるとともに、美しい自然に包まれた持続可能な社会を実現していくため、支えあいの心が息づく社会づくりや自然環境の保全に取り組めます。

特に、支えあいの心が息づく社会づくりについては、障がい者の地域生活移行や就労支援を進めるとともに、専門機関と地域支援をコーディネートできる人材の養成などを通し、地域支援体制の充実に努めます。また、環境の保全については、水質日本一奪回を目指す猪苗代湖を始めとする本県の優れた水環境を「水のふくしま」として全国に発信するとともに、県民総参加の脱温暖化プロジェクトとして、小中学生や事業者がCO<sub>2</sub>削減に取り組む福島議定書事業のさらなる拡充、公共施設等への県産木材の活用促進、太陽光発電やペレットストーブの導入支援などを展開してまいります。

市町村、企業、民間団体などと連携し、「人がほほえみ、地域が輝く、ほっとする、ふくしま」を創り上げてまいります。